

2026 年 FJ 鈴鹿・岡山シリーズ 第 6 戦

2026 SUZUKA CHAMPION CUP RACE Round.4

2026 年 10 月 3-4 日 天候:曇り 参加 29 台 (FJ1500/10 台、S-FJ/19 台)



テキスト: 秦 直之

全国転戦の「FJ ジャパンリーグ」は鈴鹿サーキットでシリーズ第 7 戦を迎え、残す戦いも今大会を含め、2 戦のみとなった。ポイントリーダーは、ここまで3勝を挙げている#52 酒井翔太選手(ファーストガレージ)。前回のオートポリスは欠場したものの、唯一逆転の可能性を残していた、吉田馨選手が今回エントリーしなかったことで、本戦を前にして「FJ ジャパンリーグ」2連覇が決定した。

一方、40歳以上を対象とした「FJ マスターズシリーズ」では、#16 青合正博選手(RT HERO'S Rn-Sports)がトップ。逆転の権利を残すのは、秋山健也選手と#4 古里拓選手(HOLOS レヴレーシングガレージ)のふたりながら、秋山選手は欠場。そして、#4 古里選手にも 11 ポイントの差をつけているため、青合選手が 5 位以上に入ればチャンピオン決定となる。

また、併せて行われる鈴鹿・岡山シリーズは、今大会が早くも最終戦。FJ1500 のトップもまた#52 酒井選手で、#57 田崎脩馬選手(MYST 制動屋 KK-F)が 4 ポイント差、#56 宮本颯斗選手(MYST 制動屋 KK-F)が 7 ポイント差で続いている。そして、スーパーFJ は#35 井出七星翔選手(RS イディア Eagle kks2)がトップで、#7 柱本翔夢伊選手(REV RACING with LAPS)が 4 ポイント差、#9 小野原悠選手(FTK レヴレーシング with LAPS)が 5 ポイント差で追いかける展開となっている。ただし、両クラスとも有効ポイントシステムの関係上、今大会で獲得した得点すべて重ねられるとは限らず。いずれにせよ、名勝負が繰り広げられた上での決定を大いに望みたい。

公式予選

雨続きの昨今ながら、練習走行が行われた金曜日、そして予選が行われた土曜日は秋晴れの好天に恵まれ、上々のコンディションの下で走行が許された。今大会のエントリーはスーパーFJ が 19 台で、FJ1500 も 10 台と、ついに二桁に乗った。これは「FJ ジャパンリーグ」と激戦区として知られる鈴鹿・岡山シリーズの相乗効果であるに違いない。このまま順調に台数を増やすことを期待したい。

予選ではそれぞれ計測 2 周目からのアタックとなり、まずトップに立ったのは FJ1500 の #51 永原蒼翔選手(ピットワークながはら/MYST)で、2 分 14 秒 797 をマーク。最終戦を待たずオートポリスシリーズのチャンピオンを決めているドライバーの勢いを感じさせたものの、間髪入れず、このタイムを上回る 2 分 14 秒 713 を出してきたのが、スーパーFJ の #9 小野原選手だった。

#9 小野原選手は次の周にも 2 分 14 秒 445 に縮めてくるが、これを 2 分 14 秒 435 で上回ってきたのが #35 井出選手だった。そして 3 番手には 2 分 14 秒 589 で #52 酒井選手が上がってくる。

#35 井出選手は、その後 1 周のクールダウンを挟み、なおもアタックを続けるも、タイムは縮まらなかったことから、チェッカーを待たずにピットイン。しかし、その直後に展開が一気に動く。まずは #9 小野原選手が 2 分 14 秒 260 でトップに浮上し、これに続いたのが 2 分 14 秒 370 を出した #51 永原選手。それも束の間、2 分 14 秒 288 でふたりの間に割って入り、2 番手につけたのが #52 酒井選手だった。さらに 4 番手にも FJ1500 の #56 宮本選手が。

#9 小野原選手は、これが初のポールポジションとなり、ピットで見守っていた #35 井出選手は 5 番手に後退。だが、クラスでは 2 番手だから、この位置関係が保たれれば、#35 井出選手がチャンピオンとなる。

「FJ マスターズシリーズ」では、FJ1500 の #12 小嶋健太郎選手(Rn-Sports ELPA 制動屋 KK-F) が総合 20 番手でトップ。チャンピオンに王手をかけた #16 青合選手と、初参戦の #11 植田正幸選手(Rn-Sports 制動屋 KK-F)を僅差で従えていた。

ポールポジション&スーパーFJ トップ:

#9 小野原悠選手(FTK レヴレーシング with LAPS)

「3 周目ぐらいに一発ポンと出して、その時点ではトップだったんですが、そこからタイヤがタレてきて思うようにアタックしてもタイムが出ない状況で、ちょっと不安な気持ちはあったんですけど、その中で『最後、ここしかない!』って時に、自分の力を全部出し切れて 4 秒 2 でベストを出せて、結果的にポールを獲れたので、そこは良かったと思います。今回のレース、なるべく前でフィニッシュすることを頭に入れて、FJ1500 もいるので、なかなか逃げ切るっていうのは難しいと思うんですけど、その中でベストを尽くして、なるべくランキングの上位で終われるようにできたらな、と思っています」



予選 2 番手&FJ1500 トップ:

#52 酒井翔太選手(ファーストガレージ)

「最後の最後に、やっとまとまって出たタイムなのかなって感じがして。昨日、一昨日の練習走行で出ていたタイムが、86 とか走っていた後だったせいか路面が悪くなって、タイムがあんまり出ていなかったんですが、ちょっとスーパーFJ に負けたのは悔しいですね。決勝は 2 番手スタートなので、なんとか序盤からペース上げていければ、と思っています」



予選 3 番手 & FJ1500 2 番手:

#51 永原蒼翔選手(ピットワークながはら/MYST)

「ベストラップは最後の方で出して、予定どおりではあったんですけど、いったんクールを入れて、最後の1周に賭けたので、そこでちゃんとベストを尽くせたことは良かったかな、と思います。前にふたりもいるのは、ちょっと予想外でしたが、決勝はもっと前が近いんで、落ち着いてトップ狙いに行こうと思っています。オートポリスの初代(FJ1500)チャンピオンとして、しっかりプライドを持って頑張っていきたいと思います」



予選 20 番手 & FJ マスターズトップ:

#12 小嶋健太郎選手(Rn-Sports ELPA 制動屋 KK-F)

「予選はほとんど今回、レースウィークに乗れていなかったもので、周回を重ねながらブレーキングポイントを決めていく感じでした。なので、もうあと 20 分あれば、もうちょっとタイムが出たかもしれません」



決勝レース

この週末は、てっきりドライコンディションがずっと保たれると思われたのだが、肝心なところで裏切られた感じだ。午後から雨が降り出し、路面を濡らしてしまう。もっとも、FJ のスタート進行までにはやんで、ほぼドライコンディションに。果敢にも全車スリックタイヤで臨んだものの、ライン上はともかく、外してしまうと厄介な状況にもなりそうだった。



そんな中、スタートをしっかり決めてトップに立ったのは#52 酒井選手。1 コーナーで#9 小野原選手のインを刺してトップに浮上する。3 番手は#51 永原選手で、4 番手は#56 宮本選手、5 番手は#35 井出選手と、ここは予選と変わらず。

早々に逃げの構えに入った#52 酒井選手に対し、いきなりやり合ったのが#51 永原選手と#56 宮本選手。#56 宮本選手がヘアピンで並ぶも、抜き切るまでには至らず。しかし、130R で先行を許した#51 永原選手は、続くシケインで#35 井出選手にも抜かれてしまう。ブレーキがきついのか、2 周目の1 コーナーで#51 永原選手は、#77 光山選手と#48 梅本選手にも抜かれていた。また、この周には#35 井出選手が3 番手に浮上する。

その#35 井出選手が2 周連続でファステストラップを記録。一時は離されていた、#9 小野原選手との差も徐々に詰まっていく。そして4 周目のシケインでスーパーFJ のトップに躍り出る。その直後に最終コーナーでスピンし、止まった車両があったことからセーフティカーが導入されてしまう。

これで3 秒近くまで広げたリードが水の泡となった#52 酒井選手だったが、7 周目のリスタートは、なんとバックストレートから加速。これには合わせられた#35 井出選手と#9 小野原選手だったが、S 字に差し掛かると、もう#52 酒井選手には着いていけず。そして、その直前の1 コーナーでは#77 光山選手(F ガレージ丸和精光 KK-F)が、#56 宮本選手を抜いて4 番手に浮上。その後、光山選手はシケインで#35 井出選手を抜き去ると、その勢いで9 周目の1 コーナーで#9 小野原選手をもパスして、総合でも2 番手に浮上する。

後方では入れ替わりの激しいレースが繰り広げられていたが、ひとり後部を引き離しトップでチェッカーを受けたのは#52 酒井選手。最終ラップにはファステストラップとなる2 分 13 秒 540 を叩き出し、4 秒4 差での圧勝に。意外にも、これが鈴鹿での今季初優勝。そしてジャパンリーグに併せ、鈴鹿・岡山シリーズのFJ1500 チャンピオンも獲得した。2 位でゴールは#77 光山選手。そして



3 位でゴールし、スーパーFJ の2 勝目を挙げた#9 小野原選手ながら、コンマ18 秒差で続いてフィニッシュした#35 井出選手がチャンピオンを獲得。この後に#51 永原選手、#48 梅本選手、#56 宮本選手が続いてゴール。

「FJ マスターズシリーズ」では、終始トップを#12 小嶋選手が快走。見事初優勝を飾った一方で、#16 青合選手は4 位でレースを終え、悲願のFJ マスターズのチャンピオンを獲得した。



次回のジャパンリーグは、11 月 21～22 日にモビリティリゾートもてぎで開催される。その2 週間後には同じサーキットで FJ 日本一決定戦が控えているだけに前哨戦ともなるはずだ。チャンピオンはすでに決まっているものの、大激戦となるのは必至だ ！



FJ1500 優勝: #52 酒井翔太選手(ファーストガレージ)

「スタートが決まったし、序盤のペースが良かったので、このまま走り切れれば勝てるかな、ってレースでした。リスタートの加速はバックストレートからで、スーパーFJ に対してギリギリで行っても、ワンチャン、ホームのストレートで行かれちゃうかな、っていうのがあったのでちょっと早めに加速しました。チャンピオン獲れました、やっと。鈴鹿・岡山シリーズでは獲れていなかったの。あと獲っていないのは筑波・富士シリーズだけなので、そこはしっかり決めていきたいな、と思っています」

FJ1500 2 位: #77 光山勇正選手(F ガレージ丸和精光 KK-F)

「スタートをミスしちゃったんですけど、1 周目でしっかり 2 台を抜けて、SC 入るまではあんまりペース良なくて、抜くのはちょっと厳しいなと思っていたんですが、SC 入ってからは距離が縮まったので、再開直後に 1 台抜けて、その次の周には 2 位まで上がれました。結果的に 2 位まで上がれても、そこからはスーパーFJ はストレート速かったんで、ちょっときついな、と思ったんですけど、なんとか守り切ったという感じです。練習とか予選の段階で、あんまり調子良なくて、自分の中でスランプになっているのかなと思ったんですが、今日のレースでしっかり調子を取り戻すことができました」

総合 3 位 スーパーFJ 優勝: #9 小野原悠選手(FTK レヴレーシング with LAPS)

「最後、FJ1500 に 130R でインに並びかけたんですが、抜き切るまでには至らなくて。最後、2 位まで行きたかったんですけど、結果的には 3 位で終わってしまって、ちょっと悔しいんですけど。一応、順位落とさずに終われて良かったと思います」

総合 4 位 スーパーFJ 2 位: #35 井出翔夢伊選手(RS イディア Eagle KKS2)

「チャンピオンを決めることができました。FJ1500 を絡めたので、酒井選手には先に行かれちゃったんですが、やっぱり FJ1500 の恩恵もあったし、そのおかげでもありました。いいバトルをふたりでできたから、楽しかったです。チャンピオンというのが、いやあ、ちょっと嬉しいのがまだまだ来ていなくて、2 位が悔しすぎますね」



FJ マスターズの表彰 2 位 三浦選手 優勝 小嶋選手 3 位 植田選手

マスターズ優勝: #12 小嶋健太郎選手(Rn-Sports ELPA 制動屋 KK-F)

「今日はずっとトップでした。ミラーが途中で落ちてしまったので見られなかったんですけど、後ろはそれほど気になりませんでした。いい走りもできたと思います。おかげさまで植田(正幸)代表と、チームメイトの青合さんと力を合わせてやってきたので、この 1 年間、楽しく走ることができました」

マスターズ 4 位(シリーズチャンピオン): #16 青合正博選手(RT HERO'S Rn-Sports)

「今年は今までサポートしてきた若手たちも、それぞれに活躍の場所を見つけて、時間に余裕があったのもあり、ひとりのドライバーとしてドライビングだけに集中して戦ってみたいと思って、自分のチームではなく Rn-Sports さんでシリーズへの挑戦を決めました。特に後半戦は、気持ち良くアグレッシブに攻めていくというレースではなく、確実に完走してポイントを持ち帰る守り中心のレースも多く、フラストレーションが溜まることも多かったですが、本当に FJ マスターズのチャンピオンが獲れて良かったです」



FJ1500 クラスの表彰



スーパーFJ の表彰

Rd.1	5月17日	岡山国際サーキット	OKAYAMAチャレンジカップレース
Rd.2	6月21日	富士スピードウェイ	富士チャンピオンレース
Rd.3	6月21日	富士スピードウェイ	富士チャンピオンレース
Rd.4	7月18日	スポーツランドSUGO	SUGOチャンピオンカップレース
Rd.5	8月30日	筑波サーキット	筑波チャレンジクラブマンレース
Rd.6	9月13日	オートポリス	ゴールドカップレース
Rd.7	10月4日	鈴鹿サーキット	鈴鹿チャンピオンカップレース
Final	11月22日	モビリティリゾートもてぎ	もてぎチャンピオンカップレース

[illegible]



レーススケジュール

Rd.1	5月17日	岡山国際サーキット	OKAYAMAチャレンジカップレース
Rd.2	6月21日	富士スピードウェイ	富士チャンピオンレース
Rd.3	6月21日	富士スピードウェイ	富士チャンピオンレース
Rd.4	7月18日	スポーツランドSUGO	SUGOチャンピオンカップレース
Rd.5	8月30日	筑波サーキット	筑波チャレンジクラブマンレース
Rd.6	9月13日	オートボリス	ゴールドカップレース
Rd.7	10月4日	鈴鹿サーキット	鈴鹿チャンピオンカップレース
Final	11月22日	モビリティリゾートもてぎ	もてぎチャンピオンカップレース

ポイントランキング

[illegible]

2026 鈴鹿／岡山ジェントルマンシリーズ ポイント表

レーススケジュール



Rd.1	3月1日	鈴鹿サーキット	鈴鹿チャンピオンカップレース
Rd.2	5月17日	岡山国際サーキット	OKAYAMAチャレンジカップレース
Rd.3	6月14日	鈴鹿サーキット	鈴鹿チャンピオンカップレース
Rd.4	7月12日	鈴鹿サーキット	鈴鹿チャンピオンカップレース
Rd.5	7月12日	鈴鹿サーキット	鈴鹿チャンピオンカップレース
Rd.6	10月4日	鈴鹿サーキット	鈴鹿チャンピオンカップレース

ポイントランキング

順位	ドライバー	鈴鹿 3/1	岡山 5/17	鈴鹿 6/14	鈴鹿 7/12	鈴鹿 7/12	鈴鹿 10/4	合計
1	小嶋 健太郎	3	1		5	1	5	15
2	青合 正博	1	3	3	2	5	1	15
3	畠山 退三	2	5	5			1	13
4	古里 拓	1	1		3	2	1	8
5	山根 一人	5	1					6
6	三浦 和貴	1					3	4
7	高橋 蓮				1	3		4
8	植田 正幸						2	2
9	妹尾 俊郎		2					2
10	西山 広		1					1

FJ1500/S-FJ

FJ1500 2026 鈴鹿・岡山シリーズ 第6戦
スーパー FJ 2026 鈴鹿・岡山シリーズ 第6戦



2026 SUZUKA CHAMPION CUP RACE Round4

FJ1500/S-FJ 公式予選

2026 / 10 / 3 日



正式結果表

No.26

Weather : Fine
Track : Dry

Pos	No	Class	C.P.	Name	Team/Car	Type	Tire	Best Time	Gap	Lap
1	9	S-FJ	1	小野原 悠	FTKレーシング With LAPS	KK-S II	DL	2'14.260		8 / 9
2	52	FJ1500	1	酒井 翔太	ファーストカレッジ	KK-F	DL	2'14.288	0.028	9 / 9
3	51	FJ1500	2	永原 蒼翔	ピットワークながはら/MYST	KK-F	DL	2'14.370	0.110	0.082 9 / 9
4	56	FJ1500	3	宮本 颯斗	MYST 制動屋KK-F	KK-F	DL	2'14.380	0.120	0.010 9 / 9
5	35	S-FJ	2	井出 七星翔	RSイティア Eagle KKS2	KK-S II	DL	2'14.435	0.175	0.055 4 / 8
6	48	FJ1500	4	梅本 幸汰	ファーストカレッジ	KK-F	DL	2'14.613	0.353	0.178 8 / 9
7	77	FJ1500	5	光山 勇正	ファーストカレッジ丸和精光KK-F	KK-F	DL	2'14.712	0.452	0.099 7 / 9
8	58	S-FJ	3	太田 援増	MYST 制動屋 KKS II	KK-S II	DL	2'15.174	0.914	0.462 5 / 9
9	7	S-FJ	4	柱本 翔夢伊	REV RACING with LAPS	KK-S II	DL	2'15.203	0.943	0.029 8 / 9
10	34	S-FJ	5	藤井 翔大	Drago CORSE	KK-S II	DL	2'15.212	0.952	0.009 6 / 9
11	57	FJ1500	6	田崎 脩馬	MYST 制動屋 KK-F	KK-F	DL	2'15.236	0.976	0.024 7 / 9
12	38	S-FJ	6	松原 将也	Hobby Base&MYST	KK-S II	DL	2'15.327	1.067	0.091 6 / 9
13	61	S-FJ	7	一宮 總太朗	MYST KK-S II	KK-S II	DL	2'15.366	1.106	0.039 7 / 9
14	55	S-FJ	8	板倉 慎哉	AMORE TOKYO☆表参道☆KKS II	KK-S II	DL	2'15.594	1.334	0.228 7 / 9
15	6	S-FJ	9	河野 晃大	レーシングカレッジ	KK-S II	DL	2'15.747	1.487	0.153 9 / 9
16	88	S-FJ	10	八巻 渉	中日本自動車短期大学KK-S II	KK-S II	DL	2'15.817	1.557	0.070 7 / 9
17	50	S-FJ	11	伊藤 聖七	eagle sport	KK-S II	DL	2'15.818	1.558	0.001 4 / 9
18	85	S-FJ	12	吉田 英翔	K&G RACING C72 KKS-2	KK-S II	DL	2'15.843	1.583	0.025 7 / 9
19	21	S-FJ	13	本田 宙	MYST KK-S II	KK-S II	DL	2'16.200	1.940	0.357 4 / 9
20	12	FJ1500	7	G 小嶋 健太郎	Rn-sports ELPA 制動屋KK-F	KK-F	DL	2'16.455	2.195	0.255 8 / 9
21	16	FJ1500	8	G 青合 正博	RT HERO'S Rn-Sports	KK-F	DL	2'16.592	2.332	0.137 8 / 9
22	11	FJ1500	9	G 植田 正幸	Rn-sports制動屋KK-F	KK-F	DL	2'16.603	2.343	0.011 5 / 9
23	69	FJ1500	10	G 三浦 和貴	BSA KRC	KK-F	DL	2'16.737	2.477	0.134 4 / 9
24	79	S-FJ	14	三瓶 旭	中日本自動車短期大学KK-S II	KK-S II	DL	2'16.742	2.482	0.005 7 / 9
25	66	S-FJ	15	府本 淳之介	FORM with雅企画 KKS- II	KK-S II	DL	2'17.011	2.751	0.269 3 / 6
26	54	S-FJ	16	G 晶山 退三	純ーベースMYST&FIX	KK-S II	DL	2'17.442	3.182	0.431 9 / 9
27	70	S-FJ	17	加藤 薫	デルタモーターススポーツKKS- II	KK-S II	DL	2'17.853	3.593	0.411 8 / 9
28	4	S-FJ	18	G 古里 拓	HOLOSレーシングカレッジ	KK-S II	DL	2'17.984	3.724	0.131 5 / 8
29	13	S-FJ	19	デワン クリスファー	InfernoR.KK-S2	KK-S II	DL	2'19.975	5.715	1.991 5 / 8

***** 以上予選通過 (2'54.597 - 130%) *****

Start Time :15:25'00 Finish Time :15:45'00

Entry :29 Start :29

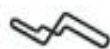
※G... ジェントルマンクラス

以下の車両は、当該大会不採用 (SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則 第59条6) (走路外走行))

No.50(2'16.706)(2'15.818) No.57(2'15.841) No.88(2'16.500)(2'15.655) No.58(2'15.172) No.21(2'17.154) No.70(2'17.279)(2'18.855)
No.52(2'16.844)(2'15.547) No.4(2'19.444) No.34(2'16.384) No.56(2'15.012) No.54(2'17.113)(2'17.349)
No.69(2'17.221) No.66(2'16.440)(2'16.435)(2'47.035) No.77(2'15.372) No.13(2'22.796)

FJ1500/S-FJ 決勝

2026 / 10 / 4 8:00



SUZUKA CIRCUIT

正式結果表

No.48

Weather : Cloudy

Track : Dry

Full Course 4-Wheels(5,807m)

Pos	No	Class	C.P.	G.P.	Name	Team/Car	Type	Tire	Lap	Total Time	Gap	Best Time
1	52	FJ1500	1		酒井 翔太	ファーストガレージ	KK-F	DL	10	25'20.730		2'13.540
2	77	FJ1500	2		光山 勇正	Fガレージ丸和精光KK-F	KK-F	DL	10	25'25.147	4.417	2'14.090
3	9	S-FJ	1		小野原 悠	FTKレーシング With LAPS	KK-S II	DL	10	25'25.876	5.146	2'14.084
4	35	S-FJ	2		井出 七星翔	RSイディアルEagle KKS2	KK-S II	DL	10	25'26.036	5.306	2'13.820
5	51	FJ1500	3		永原 蒼翔	ビートワークながはら/MYST	KK-F	DL	10	25'26.218	5.488	2'14.310
6	48	FJ1500	4		梅本 幸汰	ファーストガレージ	KK-F	DL	10	25'26.769	6.039	2'14.034
7	56	FJ1500	5		宮本 颯斗	MYST 制動屋KK-F	KK-F	DL	10	25'26.851	6.121	2'13.968
8	57	FJ1500	6		田崎 侑馬	MYST 制動屋 KK-F	KK-F	DL	10	25'27.051	6.321	2'14.559
9	7	S-FJ	3		柱本 翔夢伊	REV RACING with LAPS	KK-S II	DL	10	25'28.525	7.795	2'14.790
10	61	S-FJ	4		一宮 雄太郎	MYST KK-S II	KK-S II	DL	10	25'28.773	8.043	2'14.999
11	88	S-FJ	5		八巻 渉	中日本自動車短期大学KK-S II	KK-S II	DL	10	25'32.424	11.694	2'15.459
12	66	S-FJ	6		府本 淳之介	FORM with 租企画 KKS- II	KK-S II	DL	10	25'32.838	12.108	2'14.408
13	50	S-FJ	7		伊藤 聖七	eagle sport	KK-S II	DL	10	25'33.937	13.207	2'15.792
14	38	S-FJ	8		松原 将也	Hobby Base&MYST	KK-S II	DL	10	25'37.112	16.382	2'15.966
15	12	FJ1500	7	G1	小嶋 健太郎	Rn-sports ELPA 制動屋KK-F	KK-F	DL	10	25'37.636	16.906	2'16.046
16	85	S-FJ	9		吉田 英翔	K&G RACING C72 KKS-2	KK-S II	DL	10	25'37.875	17.145	2'16.084
17	6	S-FJ	10		河野 晃大	レヴレーシングガレージ	KK-S II	DL	10	25'37.924	17.194	2'15.966
18	69	FJ1500	8	G2	三浦 和貴	BSA KRC	KK-F	DL	10	25'38.459	17.729	2'16.200
19	55	S-FJ	11		板倉 慎哉	AMORE TOKYO☆表参道☆KKS II	KK-S II	DL	10	25'38.773	18.043	2'15.432
20	11	FJ1500	9	G3	植田 正幸	Rn-sports制動屋KK-F	KK-F	DL	10	25'39.321	18.591	2'16.442
21	16	FJ1500	10	G4	青合 正博	RT HERO'S Rn-Sports	KK-F	DL	10	25'39.850	19.120	2'16.610
22	21	S-FJ	12		本田 宙	MYST KK-S II	KK-S II	DL	10	25'40.924	20.194	2'15.755
23	54	S-FJ	13	G5	畠山 退三	ホビークーペーMYST&FIX	KK-S II	DL	10	25'41.343	20.613	2'16.569
24	79	S-FJ	14		三瓶 旭	中日本自動車短期大学KK-S II	KK-S II	DL	10	25'42.959	22.229	2'16.546
25	70	S-FJ	15		加藤 薫	デルタモータース&ツツKKS- II	KK-S II	DL	10	25'43.387	22.657	2'16.996
26	4	S-FJ	16	G6	古里 拓	HOLOSレーシングガレージ	KK-S II	DL	10	25'47.020	26.290	2'17.398
27	13	S-FJ	17		デワソ クリストファー	InfernoR.KK-S2	KK-S II	DL	10	25'54.056	33.326	2'19.474
*1 28	58	S-FJ	18		太田 援増	MYST 制動屋 KKS II	KK-S II	DL	10	26'16.076	55.346	2'15.545
***** 以上完走 (規定周回数 9Laps) *****												
	34	S-FJ			藤井 翔大	Drago CORSE	KK-S II	DL	3	6'50.056	7Laps	2'15.347

Fastest Lap

FJ1500	2'13.540 (10 / 10)	156.546 km/h	52	酒井 翔太 / ファーストガレージ
FJ1500 Gクラス	2'16.046 (4 / 10)	153.663 km/h	12	小嶋 健太郎 / Rn-sports ELPA 制動屋KK-F
S-FJ	2'13.820 (3 / 10)	156.219 km/h	35	井出 七星翔 / RSイディアルEagle KKS2
S-FJ Gクラス	2'16.569 (3 / 10)	153.074 km/h	54	畠山 退三 / ホビークーペーMYST&FIX

Start Time :16:24'24 Finish Time :16:49'44

Entry :29 Start :29 Finish :28

※G...ジェントルマンクラス

SC導入時刻:16:33'54(4Laps)~16:43'03(7Laps)

*1 No.58は、競技結果に対して30秒加算 (SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則 第60条1)② (危険なドライブ行為))

No.58は、競技結果に対して10秒加算 (SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則 第59条6) (走路外走行をしてアドバンテージを得た))

